

翔陽高等学校令和4年度（1学年用） 教科：保健体育 科目：体育 年間授業計画

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3単位
 対象学年組：（第1学年1組～6組）
 使用教科書：（新高等保健体育（大修館））
 使用教材：（新高等保健体育（大修館））
 教科 保健体育 の目標：

指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価基準	【学びに向かう力、人間性等】			配当 時数	
			知	思	態		
	【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技術を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりに関する学習に主体的に取り組もうとしている。				
4月	体育理論	・クロススキルとオーブンスキルの違いやそれぞれの練習の仕方を理解させる。 ・用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術、ルールの変化を理解させる。	【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 運動における安全の確保を熟知できる。	○	○		7
	体づくり運動	・運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようになる。	【知識及び技能】 健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる。	○	○	○	
	I期:バスケットボール	・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。	【知識及び技能】 基本練習(パス、ドリブル、シュート)を十分にを行い、基本的な技能を身に付けることができる。	○	○	○	
	I期:陸上競技	(1) 次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 短距離走(リレー)では、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受渡して次走者のスピードを十分高めること、長距離走では、自己に適したペースを維持して走ること、ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを低く越すことができるようになる。	【知識及び技能】 短距離走(スタート、フィニッシュなど)を行い、記録を向上させることができる。	○	○	○	
	I期:硬式テニス	ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。	【知識及び技能】 基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分にを行い、基本的な技能を身に付けることができる。	○	○	○	
5月	体育理論	・技能と体力の関係について理解させる。 ・技能や体力を高める時に気をつけるべき点を挙げる。	【知識及び技能】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解している。 【思考・判断・表現】 運動における安全の確保を熟知できる。	○	○		9
	体づくり運動	・運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようになる。	【思考・判断・表現】 健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる。	○	○	○	
	I期:バスケットボール	・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。	【知識及び技能】 基本練習(パス、ドリブル、シュート)を十分にを行い、基本的な技能を身に付けることができる。	○	○	○	
	I期:陸上競技	次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。 走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切って跳ぶこと、走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空間動作で跳ぶことができるようになる。	【知識及び技能】 短距離走(スタート、フィニッシュなど)を行い、記録を向上させることができる。	○	○	○	
	I期:硬式テニス	ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようになる。	【知識及び技能】 基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分にを行い、基本的な技能を身に付けることができる。	○	○	○	
6月	体育理論	・技能と体力の関係について理解させる。 ・技能や体力を高める時に気をつけるべき点を挙げる。	【思考・判断・表現】 運動における安全の確保を熟知できる。	○	○		10
	水泳	・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。	【知識及び技能】 クロール、平泳ぎで伸びのある動作と安定したペースで泳ぐことができる。	○	○	○	
	柔道	エ パタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができるようにする。 技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、受身(左右、後方、前回り)を身につけ、基本的な技術を向上させることができる。	○	○	○	
	剣道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、基本動作(構え、素振りなど)を身につけ、基本的な打突技術を向上させることができる。	○	○	○	
	ダンス	感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通して交流や発表をすることができるようにする。創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめることができるようになる。	【知識及び技能】 体ほぐし、リズムに乗って動く、フォークダンス等を通じ、全身を使った表現力を高めることができる。	○	○	○	
7月	体育理論	・技能がどのような段階を経て上達するのか理解させる。 ・練習方法の工夫の仕方について理解させる。	【思考・判断・表現】 運動における安全の確保を熟知できる。	○	○		7
	体づくり運動	・運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようになる。	【知識及び技能】 健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる。	○	○	○	
	柔道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、受身(左右、後方、前回り)を身につけ、基本的な技術を向上させることができる。	○	○	○	
	剣道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、基本動作(構え、素振りなど)を身につけ、基本的な打突技術を向上させることができる。	○	○	○	
	ダンス	感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通して交流や発表をすることができるようにする。創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方に変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめることができるようになる。	【知識及び技能】 体ほぐし、リズムに乗って動く、フォークダンス等を通じ、全身を使った表現力を高めることができる。	○	○	○	
水泳	・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。	【知識及び技能】 クロール、平泳ぎで伸びのある動作と安定したペースで泳ぐことができる。	○	○	○		

指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価基準	知	思	意	配当 時数	
8月	体育理論	・体の動きはどのような仕組みで開始され、持続していくのか理解させる。 ・よい動きを支える調整力について例を挙げて説明できるようにさせる。	【思考・判断・表現】 運動における安全の確保を熟知できる。	○	○		2
	体づくり運動	・運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	【知識及び技能】 健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる。	○	○	○	
	柔道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、受身(左右、後方、前回り)を身につけ、基本的な技術を向上することができる。	○	○	○	
	剣道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、基本動作(構え、素振りなど)を身につけ、基本的な打突技術を向上することができる。	○	○	○	
	ダンス	感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができるようにする。	【知識及び技能】 体ほぐし、リズムに乗って動く、フォークダンス等を通じ、全身を使った表現力を高めることができる。	○	○	○	
	水泳	泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【知識及び技能】 クロール、平泳ぎで伸びのある動作と安定したペースで泳ぐことができる。	○	○	○	
9月	Ⅱ期:バスケットボール	・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【知識及び技能】 基本練習(パス、ドリブル、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる。	○	○	○	8
	Ⅱ期:陸上競技	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。	【知識及び技能】 短距離走(スタート、フィニッシュなど)を行い、記録を向上することができる。	○	○	○	
	Ⅱ期:硬式テニス	ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【知識及び技能】 基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる。	○	○	○	
	柔道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、受身(左右、後方、前回り)を身につけ、基本的な技術を向上することができる。	○	○	○	
	剣道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、基本動作(構え、素振りなど)を身につけ、基本的な打突技術を向上することができる。	○	○	○	
	ダンス	感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができるようにする。	【知識及び技能】 体ほぐし、リズムに乗って動く、フォークダンス等を通じ、全身を使った表現力を高めることができる。	○	○	○	
10月	Ⅱ期:バスケットボール	・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【知識及び技能】 基本練習(パス、ドリブル、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる。	○	○	○	10
	Ⅱ期:陸上競技	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。	【知識及び技能】 短距離走(スタート、フィニッシュなど)を行い、記録を向上することができる。	○	○	○	
	Ⅱ期:硬式テニス	ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【知識及び技能】 基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる。	○	○	○	
	柔道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、受身(左右、後方、前回り)を身につけ、基本的な技術を向上することができる。	○	○	○	
	剣道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、基本動作(構え、素振りなど)を身につけ、基本的な打突技術を向上することができる。	○	○	○	
	ダンス	感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができるようにする。	【知識及び技能】 体ほぐし、リズムに乗って動く、フォークダンス等を通じ、全身を使った表現力を高めることができる。	○	○	○	
11月	Ⅲ期:バスケットボール	・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【知識及び技能】 基本練習(パス、ドリブル、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる。	○	○	○	10
	Ⅲ期:陸上競技	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。	【知識及び技能】 短距離走(スタート、フィニッシュなど)を行い、記録を向上することができる。	○	○	○	
	Ⅲ期:硬式テニス	ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【知識及び技能】 基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる。	○	○	○	
	柔道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、受身(左右、後方、前回り)を身につけ、基本的な技術を向上することができる。	○	○	○	
	剣道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、基本動作(構え、素振りなど)を身につけ、基本的な打突技術を向上することができる。	○	○	○	
	ダンス	感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方で変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができるようにする。	【知識及び技能】 体ほぐし、リズムに乗って動く、フォークダンス等を通じ、全身を使った表現力を高めることができる。	○	○	○	

指導項目・内容	単元の具体的な指導目標	評価基準	知	思	態	配当 時数
12月 Ⅲ期:バスケットボール	・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができるようにする。 ・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【知識及び技能】 基本練習(パス、ドリブル、シュート)を十分にを行い、基本的な技能を身につけることができる。	○	○	○	8
Ⅲ期:陸上競技	陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。	【知識及び技能】 短距離走(スタート、フィニッシュなど)を行い、記録を向上することができる。	○	○	○	
Ⅲ期:硬式テニス	ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。	【知識及び技能】 基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分にを行い、基本的な技能を身につけることができる。	○	○	○	
柔道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、受身(左右、後方、前回り)を身につけ、基本的な技術を向上することができる。	○	○	○	
剣道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、基本動作(構え、素振りなど)を身につけ、基本的な打突技術を向上することができる。	○	○	○	
ダンス	感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方を変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができるようにする。	【知識及び技能】 体ほぐし、リズムに乗って動く、フォークダンス等を通じ、全身を使った表現力を高めることができる。	○	○	○	
1月 体育理論	・体力とトレーニングの基礎理論について理解させる。 ・目的に応じた様々なトレーニングの方法を理解させる。	【思考・判断・表現】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解する 【思考・判断・表現】 運動における安全の確保を熟知できる	○	○	○	7
体づくり運動	・運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	【思考・判断・表現】 健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる。	○	○	○	
柔道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。柔道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技、連絡技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、受身(左右、後方、前回り)を身につけ、基本的な技術を向上することができる。	○	○	○	
剣道	技を高め勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて攻防を展開することができるようにする。剣道では、相手の動きの変化に応じた基本動作や基本となる技を用いて、相手の構えを崩し、しかけたり応じたりするなどの攻防をすることができるようにする。	【知識及び技能】 礼法、基本動作(構え、素振りなど)を身につけ、基本的な打突技術を向上することができる。	○	○	○	
ダンス	感じを込めて踊ったり、みんなで自由に踊ったりする楽しさや喜びを味わい、ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、イメージを深めた表現や踊りを通じた交流や発表をすることができるようにする。創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、緩急強弱のある動きや空間の使い方を変化を付けて即興的に表現したり、簡単な作品にまとめたりして踊ることができるようにする。	【知識及び技能】 体ほぐし、リズムに乗って動く、フォークダンス等を通じ、全身を使った表現力を高めることができる。	○	○	○	
持久走	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができるようにする。	【知識及び技能】 男女ともグラウンド・校舎周りの400mコースを走り、基礎体力を向上することができる。	○	○	○	
2月 体づくり運動	・運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことができるようにする。	【思考・判断・表現】 健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる。	○	○	○	9
持久走	記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができるようにする。長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができるようにする。	【知識及び技能】 男女ともグラウンド・校舎周りの400mコースを走り、基礎体力を向上することができる。	○	○	○	
球技大会練習	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】 球技大会種目の練習を通じて、チーム・クラスの団結力を深めることができる。		○	○	
3月 球技大会練習	攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする事、互いに助け合い教え合おうとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。	【学びに向かう力、人間性等】 球技大会種目の練習を通じて、チーム・クラスの団結力を深めることができる。		○	○	5

翔陽高等学校令和4年度(1学年用) 教科: 保健体育 科目: 保健 年間授業計画

教科: 保健体育 科目: 保健 単位数: 1単位

対象学年組: (第1学年1組~6組)

使用教科書: (新高等保健体育(大修館))

使用教材: (新高等保健体育(大修館))

教科 保健体育 の目標:

【知識及び技能】		【思考・判断・表現】	【学びに向かう力、人間性等】				
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技術を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。		自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。				
指導内容	保健の具体的な指導目標	評価基準	知	思	態	配当時数	
現代社会と健康 1. 日本における健康課題の変遷	・健康指標や疾病構造の変化から、日本の健康課題を理解させる。 ・健康水準や疾病構造の変化には社会の状況が関わっていることを理解させる。	【知識及び技能】 健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 健康の考え方について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	○	○		1	
	4月 2. 健康の考え方と成り立ち	・健康の考え方がどのように変化してきたか理解させる。 ・健康の成立には様々な要因が関わっていることを理解させる。	【知識及び技能】 我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して国民の健康課題について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 国民の健康課題について、我が国の健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて分析し、生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理している。	○	○		1
	3. ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり	・ヘルスプロモーションの考え方に基づく環境づくりの重要性を理解させる。 ・健康を保持・増進するための環境について理解させる。	【知識及び技能】 健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づき、適切な意思決定や行動選択により、疾病等のリスクを軽減することを含め、自らの健康を適切に管理することが必要であるとともに、環境づくりが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 健康の考え方について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	○	○		1
現代社会と健康 4. 健康に関する意思決定・行動選択	・健康を保持・増進するには適切な意思決定・行動選択が重要であることを理解させる。 ・意思決定・行動選択は様々な要因により影響を受けることを理解させる。	【知識及び技能】 適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 健康の考え方について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○	1	
5月 5. 現代における感染症の問題	・感染症の発生や流行には自然や社会の環境が影響することについて理解させる。 ・新興感染症や再興感染症の発生や流行の現状とその理由について理解させる。	【知識及び技能】 感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られること、その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌(O157等)感染症、結核などの新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代の感染症とその予防について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	○	○		2	
	現代社会と健康 6. 感染症の予防	・感染症予防の三原則について理解させる。 ・感染症を予防するために必要な社会および個人の取り組みについて理解させる。	【知識及び技能】 感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 感染症の発生や流行には時代や地域によって違いがみられることについて、事例を通して整理し、感染のリスクを軽減するための個人の取組及び社会的な対策に活用している。	○	○		1
6月 7. 性感染症・エイズとその予防	・性感染症・エイズの現状と今後の課題について理解させる。	【知識及び技能】 感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であること、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の行動選択や社会の対策について、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 現代の感染症とその予防について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	○	○		1	
	7月 7. 性感染症・エイズとその予防	・性感染症・エイズの予防に必要な個人および社会の取り組みについて理解させる。	【学びに向かう力、人間性等】 現代の感染症とその予防、性感染症・エイズの予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○	1

	指導内容	保健の具体的な指導目標	評価基準	知	思	態	配当時数
8月	現代社会と健康 8.生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病のリスクを軽減し予防するために必要な個人の取り組みについて理解させる。 ・生活習慣病の予防や回復のために必要な社会の取り組みについて理解させる。	【知識及び技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・生活習慣病などの予防と回復について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	○	○		1
	9.身体活動・運動と健康	・身体活動・運動と健康の関係について理解させる。 ・身体活動・運動の継続的な実践に必要な個人と社会の取り組みについて理解させる。	【思考・判断・表現】 ・身体活動・運動と健康の関係について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 【学びに向かう力、人間性等】 生活習慣病とその予防について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○	1
9月	現代社会と健康 10.食事と健康	・食事と健康の関係について理解させる。 ・健康的な食生活の実践に必要な個人および社会の取り組みについて理解させる。	【知識及び技能】 生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・食事と健康について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。	○	○	○	1
	11.休養・睡眠と健康	・休養・睡眠と健康の関係について理解させる。 ・適切な休養・睡眠の確保に必要な個人および社会の取り組みについて理解させる。	【思考・判断・表現】 ・休養と睡眠と健康について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 【学びに向かう力、人間性等】 食事と健康、休養と睡眠と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○	1
10月	現代社会と健康 12.がんの予防と回復	・がんには様々な種類があることやがんの発生要因について理解させる。 ・がんの予防や回復のために必要な個人および社会の取り組みについて理解させる。	【知識及び技能】 ・がんは、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・がんの予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。・生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。	○	○		2
	13.喫煙と健康	・喫煙による健康への影響について理解させる。 ・喫煙による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解させる。	【知識及び技能】 ・喫煙の防止について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【思考・判断・表現】 ・喫煙と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 がんの予防と回復、喫煙と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	2
11月	現代社会と健康 14.飲酒と健康	・飲酒による健康への影響について理解させる。 ・飲酒による健康被害の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解させる。	【知識及び技能】 飲酒について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 【思考・判断・表現】 ・飲酒について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	○	○	○	2
	15.薬物乱用と健康	・薬物乱用による健康および社会への影響について理解させる。 ・薬物乱用の防止に必要な個人および社会環境への対策について理解させる。	【思考・判断・表現】 ・薬物乱用と健康について、社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 飲酒と健康、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○	1
12月	現代社会と健康 16.精神疾患の特徴	・代表的な精神疾患の特徴や症状について理解させる。 ・精神疾患の発症、回復のポイントを理解させる。	【知識及び技能】 ・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【思考・判断・表現】 ・精神疾患の予防と回復について、健康に関わる原則や概念を整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 【学びに向かう力、人間性等】 精神疾患の予防とその回復について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1

指導内容	保健の具体的な指導目標	評価基準	知	思	態	配当時数	
1月 現代社会と健康 17、精神疾患への対応	・精神疾患の予防や早期発見、治療や支援など適切な対応について理解させる。 ・心の健康社会の実現を目指した取り組みの重要性について理解させる。	【知識及び技能】 ・精神疾患の予防と回復について、習得した知識を基に、心身の健康を保ち、不調に早く気付くために必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。 ・精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【思考・判断・表現】 ・精神疾患の予防と回復について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	○	○		2	
	第2章 安全な社会生活 1、事故の現状と発生要因	・様々な場面で起こる事故とその被害の実態について理解させる。 ・事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることを理解させる。	【思考・判断・表現】 ・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○	1
2月	第2章 安全な社会生活 2、交通事故防止の取り組み	・交通事故防止には個人の取り組みと交通環境の整備が必要であることを理解させる。 ・交通事故には補償など法的責任が生じることを理解させる。	【知識及び技能】 ・安全な社会づくりについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。 【思考・判断・表現】 ・交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価している。	○	○	○	1
	3、安全な社会の形成	・安全な社会をつくるために必要な個人の取り組みを理解させる。 ・すべての人たちの安全を確保するために必要な環境の整備について理解させる。	【思考・判断・表現】 ・安全な社会づくりについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 安全な社会づくりについて、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。		○	○	1
3月	4、応急手当の意義と救急医療体制	・応急手当の意義と、その手順や方法を身につける必要性について理解させる。	【思考・判断・表現】 ・応急手当について、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	1
	第2章 安全な社会生活 5、心肺蘇生法	・心肺蘇生法の意義や方法、手順について理解させる。	【知識及び技能】 ・心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)の使用などが必要であることを、及び方法や手順について、実習を通して理解したことを言ったり書いたりし、AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 応急手当について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	○		○	1
6、日常的な応急手当	・日常生活で起こるけがの基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにさせる。 ・熱中症の予防および基本的な応急手当の方法を理解し、できるようにさせる。	【知識及び技能】 ・日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに適した体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 【思考・判断・表現】 ・応急手当について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	○	○		1	

年間授業計画様式例

翔陽高等学校令和4年度 教科： 保健体育 科目： 体育 年間授業計画

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2単位

対象学年組：（第2学年1組～5組）

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館） ）

使用教材：（ 現代高等保健体育（大修館） ）

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	体育理論 体づくり運動	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できる 運動における安全の確保を熟知できる 健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	0

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	体育理論 体づくり運動	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できる 運動における安全の確保を熟知できる 健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	0

指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>6月</p> <p>体育理論</p> <p>体づくり運動</p> <p>柔道</p> <p>剣道</p> <p>ダンス</p>	<p>運動における安全の確保を熟知できる</p> <p>健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる</p> <p>礼法、受身(左右、後方、前回り)を身につけ、基本的な技術を向上することができる</p> <p>礼法、基本動作(構え、素振りなど)を身につけ、基本的な打突技術を向上することができる</p> <p>体ほぐし、リズムに乗って動く、フォークダンス等を通じ、全身を使った表現力を高めることができる</p>	<p>関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能</p>	6

指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7月 体育理論 体づくり運動 水泳	運動における安全の確保を熟知できる 健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる 背泳ぎ、バタフライで伸びのある動作と安定したペースで泳ぐことができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	水泳	背泳ぎ、バタフライで伸びのある動作と安定したペースで泳ぐことができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	6

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	I期：バレーボール	基本練習(パス、レシーブ、スパイク、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8
	I期：サッカー	基本練習(パス、ドリブル、リフティング、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる		
	I期：硬式テニス	基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる		
	水泳	背泳ぎ、バタフライで伸びのある動作と安定したペースで泳ぐことができる		

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	Ⅱ期：バレーボール	基本練習(パス、レシーブ、スパイク、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8
	Ⅱ期：サッカー	基本練習(パス、ドリブル、リフティング、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる		
	Ⅱ期：硬式テニス	基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる		

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	Ⅲ期：バレーボール	基本練習(パス、レシーブ、スパイク、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8
	Ⅲ期：サッカー	基本練習(パス、ドリブル、リフティング、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる		
	Ⅲ期：硬式テニス	基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる		

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	Ⅲ期：バレーボール	基本練習(パス、レシーブ、スパイク、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	6
	Ⅲ期：サッカー	基本練習(パス、ドリブル、リフティング、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる		
	Ⅲ期：硬式テニス	基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる		

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	体育理論 体づくり運動 持久走	運動やスポーツの効果的な学習の仕方について理解できる 運動における安全の確保を熟知できる 健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる 男女ともグラウンド・校舎周りの4000mコースを走り、基礎体力を向上することができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	<p>体づくり運動</p> <p>持久走</p> <p>球技大会練習</p>	<p>健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる</p> <p>男女ともグラウンド・校舎周りの4000mコースを走り、基礎体力を向上することができる</p> <p>球技大会種目の練習を通じて、チーム・クラスの団結力を深めることができる</p>	<p>関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能</p>	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	球技大会練習	球技大会種目の練習を通じて、チーム・クラスの団結力を深めることができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	2

年間授業計画様式例

翔陽高等学校令和2年度 教科：保健体育 科目：保健 年間授業計画

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1単位

対象学年組：（第2学年1組～6組）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館））

使用教材：（現代高等保健体育（大修館））

指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
現代社会と健康 19 交通事故の現状と要因 20 交通社会における運転者の資質と責任	交通事故の現状と要因について理解する。 安全な運転のための資質について、理解する。	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解	0

4
月

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	<p>現代社会と健康</p> <p>20 交通社会における運転者の資質と責任</p> <p>21 安全な交通社会づくり</p>	<p>交通事故の責任と補償について、理解する。</p> <p>法的な整備と施設・設備の充実、車の安全性の向上について理解する。</p>	<p>関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解</p>	0

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	<p>現代社会と健康 22 応急手当の意義とその基本</p> <p>23 心配蘇生法</p>	<p>応急手当の意義・手順について、理解する。</p> <p>心配蘇生法の意義と原理、手順について、理解する。</p>	<p>関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解</p>	3

指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>7 月</p> <p>現代社会と健康 24 日常的な応急手当</p> <p>生涯を通じる健康 1 思春期と健康</p>	<p>怪我・熱中症の応急手当について、理解する。</p> <p>思春期の体と心の健康について、理解する。</p>	<p>関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解</p>	<p>4</p>

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	生涯を通じる健康 2 性意識と性行動の選択	性意識の変化と異性の尊重について、理解する。	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解	2

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	生涯を通じる健康 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康	心身の発達と結婚生活について、理解する。 受精・妊娠・出産について、理解する。	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解	4

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	生涯を通じる健康 5 家族計画と人工妊娠中絶 6 加齢と健康	家族計画の意義と避妊法、人工妊娠中絶について、理解する。 加齢に伴う心身の変化、中高年期の過ごし方について、理解させる。	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解	3

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	生涯を通じる健康 7 高齢者のための社会的取り組み 8 保健制度とその活用 9 医療制度とその活用	高齢者の健康課題とその支援について、理解させる。 保健行政の役割と健康づくり、保健サービスの活用について、理解させる。 医療制度と医療保険の仕組み、医療機関と医療サービスの活用について、理解させる。	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解	3

指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>生涯を通じる健康</p> <p>12月</p> <p>社会生活と健康</p>	<p>10 医薬品と健康</p> <p>医薬品の種類と使い方、医薬品の安全性のための対策について、理解させる。</p> <p>11 さまざまな保健活動や対策</p> <p>健康づくりのための活動、民間機関・国際機関の保健活動について、理解させる。</p> <p>1 大気汚染と健康</p> <p>大気汚染の原因と健康影響、地球規模の問題について、理解させる。</p>	<p>関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解</p>	<p>3</p>

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	社会生活と健康	<p>2 水質汚濁・土壌汚染と健康 水質汚濁・土壌汚染とその健康影響について、理解させる。</p> <p>3 健康被害の防止と環境対策 環境汚染の防止とその対策、産業廃棄物の処理について、理解させる。</p> <p>4 環境衛生活動のしくみと働き ごみの処理、上下水道の整備とし尿処理について、理解させる。</p>	<p>関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解</p>	3

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月	社会生活と健康 5 食品衛生活動のしくみと働き 6 食品と環境の保健と私たち 7 働くことと健康	食品の安全性、行政や製造・加工者による衛生管理について、理解させる。 食品の安全、環境の保健について、理解させる。 働き方と健康問題の変化について、理解させる。	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解	3

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月	社会生活と健康 8 労働災害と健康 9 健康的な職業生活	労働災害とその防止、安全管理と健康管理の仕組みについて、理解させる。 職場、日常生活における取り組みについて、理解させる。	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解	2

年間授業計画様式例

翔陽高等学校令和4年度 教科： 保健体育 科目： 体育 年間授業計画

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2単位

対象学年組：（第3学年1組～6組）

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館） ）

使用教材：（ 現代高等保健体育（大修館） ）

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる 運動における安全の確保を熟知できる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	0
	体づくり運動	健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる		
	1期：男子サッカー	基本練習(パス、ドリブル、リフティング、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる		
	1期:ダンス	創作ダンスの作品作りを通じ、協調性や表現力を高めることができる		
	1期：硬式テニス	基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる		
	1期:女子バスケットボール	基本練習(パス、シュート、1対1など)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる		
	1期：バドミントン	基本練習(ハイクリアー、ドロップ、ヘアピン、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる		

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる 運動における安全の確保を熟知できる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	0
	体づくり運動	健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる		
	1期：男子サッカー	基本練習(パス、ドリブル、リフティング、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる		
	1期：ダンス	創作ダンスの作品作りを通じ、協調性や表現力を高めることができる		
	1期：硬式テニス	基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる		
	1期：女子バスケットボール	基本練習(パス、シュート、1対1など)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる		
1期：バドミントン	基本練習(ハイクリアー、ドロップ、ヘアピン、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる			

指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>6月</p> <p>体育理論</p> <p>体づくり運動</p> <p>2期：女子ソフトボール</p> <p>2期：水泳</p> <p>2期：硬式テニス</p> <p>2期：男子バレーボール</p> <p>2期：バドミントン</p>	<p>豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる</p> <p>運動における安全の確保を熟知できる</p> <p>健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる</p> <p>基本練習(バッティング、投げる、捕るなど)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる</p> <p>4泳法(クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、100Mメドレーを泳ぐことができる</p> <p>基本練習(パス、レシーブ、スパイク、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる</p> <p>基本練習(パス、レシーブ、スパイク、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる</p> <p>基本練習(ハイクリアー、ドロップ、ヘアピン、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>思考・判断</p> <p>知識・理解</p> <p>運動の技能</p>	6

指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>7月</p> <p>体育理論</p> <p>体づくり運動</p> <p>2期：女子ソフトボール</p> <p>2期：水泳</p> <p>2期：硬式テニス</p> <p>2期：男子バレーボール</p> <p>2期：バドミントン</p>	<p>豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる</p> <p>運動における安全の確保を熟知できる</p> <p>健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる</p> <p>基本練習(バッティング、投げる、捕るなど)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる</p> <p>4泳法(クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、100Mメドレーを泳ぐことができる</p> <p>基本練習(パス、レシーブ、スパイク、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる</p> <p>基本練習(パス、レシーブ、スパイク、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる</p> <p>基本練習(ハイクリアー、ドロップ、ヘアピン、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>思考・判断</p> <p>知識・理解</p> <p>運動の技能</p>	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	3期：男子ソフトボール 3期：ゴルフ 3期：卓球 3期：女子バレーボール 3期：バドミントン	基本練習(バッティング、投げる、捕るなど)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる 基本練習（スウィング、打ちっぱなしなど）を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ルール理解してコースを回るのに活かすことができる 基本練習（ラリー、サーブなど）を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる 基本練習（パス、レシーブ、スパイク、サーブ）を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる 基本練習(ハイクリアー、ドロップ、ヘアピン、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	6

指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>9月</p> <p>体育理論</p> <p>体づくり運動</p> <p>3期：男子ソフトボール</p> <p>3期：ゴルフ</p> <p>3期：卓球</p> <p>3期：女子バレーボール</p> <p>3期：バドミントン</p>	<p>基本練習（パス、ドリブル、リフティング、シュート）を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる</p> <p>体ほぐし、リズムに乗って動く、フォークダンス等を通じ、全身を使った表現力を高めることができる</p> <p>基本練習（バッティング、投げる、捕るなど）を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる</p> <p>基本練習（スウィング、打ちっぱなしなど）を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ルール理解してコースを回るのに活かすことができる</p> <p>基本練習（ラリー、サーブなど）を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる</p> <p>基本練習（パス、レシーブ、スパイク、サーブ）を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる</p> <p>基本練習（ハイクリアー、ドロップ、ヘアピン、サーブ）を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>思考・判断</p> <p>知識・理解</p> <p>運動の技能</p>	<p>6</p>

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	体育理論 体づくり運動 3期：男子ソフトボール 3期：ゴルフ 3期：卓球 3期：女子バレーボール 3期：バドミントン	豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解できる 運動における安全の確保を熟知できる 健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる 基本練習(バッティング、投げる、捕るなど)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる 基本練習(スウィング、打ちっぱなしなど)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ルール理解してコースを回るのに活かすことができる 基本練習(ラリー、サーブなど)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる 基本練習(パス、レシーブ、スパイク、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる 基本練習(ハイクリアー、ドロップ、ヘアピン、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8

指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
<p>11月</p> <p>体育理論</p> <p>体づくり運動</p> <p>4期：女子サッカー</p> <p>4期：ゴルフ</p> <p>4期：卓球</p> <p>4期：男子バスケットボール</p> <p>4期：バドミントン</p>	<p>運動における安全の確保を熟知できる</p> <p>健康の保持増進や調和のとれた基礎体力を高める運動に取り組むことができる</p> <p>基本練習(パス、ドリブル、リフティング、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる</p> <p>基本練習(スウィング、打ちっぱなしなど)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ルール理解してコースを回るのに活かすことができる</p> <p>基本練習(ラリー、サーブなど)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる</p> <p>基本練習(パス、シュート、1対1など)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる</p> <p>基本練習(ハイクリアー、ドロップ、ヘアピン、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>思考・判断</p> <p>知識・理解</p> <p>運動の技能</p>	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	4期：女子サッカー 4期：ゴルフ 4期：卓球 4期：男子バスケットボール 4期：バドミントン	基本練習(パス、ドリブル、リフティング、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる 基本練習(スウィング、打ちっぱなしなど)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ルール理解してコースを回るのに活かすことができる 基本練習(ラリー、サーブなど)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる 基本練習(パス、シュート、1対1など)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる 基本練習(ハイクリアー、ドロップ、ヘアピン、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	6

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12	4期：女子サッカー	基本練習(パス、ドリブル、リフティング、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	4
	4期：ゴルフ	基本練習(スウィング、打ちっぱなしなど)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ルール理解してコースを回るのに活かすことができる		
	4期：卓球	基本練習(ラリー、サーブなど)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる		
	4期：男子バスケットボール	基本練習(パス、シュート、1対1など)を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームの中で活かすことができる		
1 月	4期：バドミントン	基本練習(ハイクリアー、ドロップ、ヘアピン、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる		

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

年間授業計画様式例

翔陽高等学校令和4年度 教科： 保健体育 科目： 体育 年間授業計画

教科： 保健体育 科目： 3年必選体育 単位数： 2単位

対象学年組：（第3学年1組～6組）

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館） ）

使用教材：（ 現代高等保健体育（大修館） ）

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエンテーション 運動能力テスト	授業の進め方、評価方法等について理解することができる サッカーの実技テストとバレーボール・バスケットボールのテスト練習をを行う	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	6

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	運動能力テスト	バレーボール、バスケットボール、硬式テニスの実技テストの練習とテストを行う	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	男子：サッカー・バスケットボール 女子：サッカー・バスケットボール	基本練習を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月				8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月				4

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	男子：バレーボール 女子：バレーボール 男子：ソフトボール 女子：ソフトボール 男子：バドミントン 女子：硬式テニス	基本練習を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる 基本練習を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる 基本練習を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	男子：バレーボール 女子：ソフトボール	基本練習を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる 基本練習を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	男子：硬式テニス 女子：バドミントン	基本練習を十分に行い、基本的な技能を身につけ、ゲームに活かすことができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	男子：バドミントン・バレーボール・ スケットボール 女子：バドミントン・バレーボール・ スケットボール	男女合同でバレー・バスケ・バドミントンを基本練習からゲームまで、グルー プで活動することができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	6

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	まとめ	男女合同でバレー・バスケ・バドミントン・サッカー・硬式テニスから選択させ、基本練習からゲームまで、グループで活動できる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	6

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2月				

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				

年間授業計画様式例

翔陽高等学校令和4年度 教科： 保健体育 科目： 上級体育 年間授業計画

教科： 保健体育 科目： 3年上級体育 単位数： 2単位

対象学年組：（第3学年1組～6組）

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館） ）

使用教材：（ 現代高等保健体育（大修館） ）

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4 月	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法等について理解することができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8
	ハードル走	走法を理解し、ハードルを低くリズムカルに超すことができる		

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
5 月	ニュースポーツ	基本練習を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
6 月	器械運動 跳躍系・支持系・連続系 ニュースポーツ	基本練習を十分に行い、自己に適した技で演技することができる 基本練習を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
7 月	水泳	クロール、平泳ぎで伸びのある動作と安定したペースで泳ぐことができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	6

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
8 月	水泳	背泳ぎ、バタフライで伸びのある動作と安定したペースで泳ぐことができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	4

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9 月	バドミントン	基本練習(ハイクリアー、ドロップ、ヘアピン、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10 月	バレーボール 体育系大学進学対策	基本練習(パス、レシーブ、スパイク、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる 過去問対策、実技対策を行う	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
11 月	<p>ニュースポーツ</p> <p>硬式テニス</p> <p>バスケットボール</p>	<p>基本練習を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる</p> <p>基本練習(ストローク、ボレー、サーブ)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる</p> <p>基本練習(パス、ドリブル、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる</p>	<p>関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能</p>	8

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
12 月	バスケットボール 体育理論	基本練習(パス、ドリブル、シュート)を十分に行い、基本的な技能を身につけることができる 実技の様子を、映像で確認する	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	6

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
1 月	総まとめ	直前に迫った入試に向けた総まとめを行う	関心・意欲・態度 思考・判断 知識・理解 運動の技能	2

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
2 月				

	指導内容	体育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
3 月				